

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL) 0555-22-3199

(FAX) 0555-25-7002

2024年7月第503号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

歌うこと

菊池 香織

私たちはミサの中で、神様を賛美する沢山の歌を歌っています。それらの歌は、私たちに命を与え、守り、生かしてくださる神の計り知れない恵み、愛、救いに対して、心の奥底から湧き上がる感謝と喜び、感動と信頼を表現するものです。

旧約時代、神に導かれて葦の海を渡ったモーセとイスラエルの民は神を賛美して歌い、ミリアムと女たちも小太鼓を手に喜び歌いました(出エジプト 15,1-21)。ダビデが契約の箱をエルサレムに運び上げた時も、音楽を担当するレビ人たちは琴や豎琴を奏で、シンバルを打ち鳴らし、声を張り上げて喜び歌いました(歴代誌上 15,16-24)。そして 150 ある詩編は、メロディや伴奏楽器の指定があることから分かるように、全て歌われていたものです。

エルサレムの初期共同体は詩編を歌うことで神を賛美し、あるいは神に嘆願するというユダヤの習慣を受け継ぎました。西方教会に詩編と賛歌を導入したのは 4 世紀のミラノの司教アンブロジウスですが、彼と信者たちが異端アリウス派の兵士たちに包囲された教会の中で詩編と賛歌を日夜歌い続けて耐え抜いたという出来事が、アウグスティヌスの「告白」第 9 巻第 7 章に語られています。苦難の中でも、神への信頼を共に歌うことで彼らの心は強められました。私たちも声と心を合わせて歌うことで、その歌を、神のもとに一つにつながれた共同体の祈りとして天に届けることができます。



ところで、聖歌を歌うたびに、私たちは神の語りかけを聞き、神の計画を知ります。歌うことは神を知ることへの招きでもあるのですから、歌の言葉を十分に理解し心に刻んで、自分の言葉として歌いたいものです。全地の王である神を賛美する詩編 47 の第7節に「賢明に歌え psallite sapienter」とありますが、sapientia (知恵)をもって歌うとは、人知の及ばない神のみ心を深く思い巡らし、歌う言葉の意味をよく考え、味わい、共同体全体で分かち合う意思をもって歌う、ということです。そして、私たちが歌を通して神と出会い、その喜びを共にして、一致して力強く神を告げ知らせるなら、それは宣教にもなるのです。

私たちの歌を共同体として神に捧げる「1つの歌」にする、そのためには、一人一人が勝手に歌うのではなく、互いによく聞き合って言葉を合わせる事が大切です。「よく聞くこと」は歌に限らず難しいことですが、聞こうとしなければ聞こえてこない神からの呼びかけが聞き取れるほどの良い耳を持つ私たちですから、隣人の息遣いを聞き取って言葉を合わせ、大きな一つの



祈りの輪を作るように歌うことはできるはずで。以前、フランスのソレム修道院で聖週間を過ごした時、50名を超える修道士の方々の声が完全に溶け合って一つの声になり、まるで一人で歌っているかのように言葉が全てはつきりと聞き取れて、しかもそこには天と地をつなぐ太い響きの柱が打ち建てられているかのような荘厳さがあり、なんと美しいことかと感動を覚えました。

一人の羊飼いに導かれ、一つの群れとなった私たちが、心を尽くして丁寧に、神への賛美と感謝の言葉を歌うなら、それは天の玉座の上を飛び交いながら賛美の歌を歌っているセラフィムたちの歌声とも響き合い、私たちは地上にいながら天の祝宴に参加することができるのだと思います。ご一緒に、富士吉田教会から神様をほめ歌う美しい声を天に届けましょう！。

カトリック富士吉田教会から離れるお別れのご挨拶

佐藤光良・八重子

この素晴らしい教会に転籍して早や5年になろうとしていますが、「光陰矢の如し」と良く言いますが、まさか我々もこのように早く皆様にお別れのご挨拶をするようになるとは、今年の初めまで考えてもいませんでした。大きな理由の一つは、この年齢でも私に仕事を手伝って欲しいという方がいらしたことです。後は地の利ですね。ご存知のように、現在住まいしている道志村は、我が家からの風景こそ素晴らしいですが、山中湖村に行くにも都留市に行くにも津久井に出るにも、全てS字カーブと峠があり、公共交通機関が脆弱です。また、地球温暖化に伴って、山に囲まれ村に川が流れている環境は湿気と暑さで住み難くなってきました。その様に感じてきた頃、北杜の知人からお声掛けを戴きました。まだまだ現役で働けるとの思いは、イエス様からの援護かと決心し、転居を計画し始めました。

現地に行ってみたところ、南アルプスが遠くに見え、背後には八ヶ岳がそびえ。雄大な高原の景色が開放感をもたらしてくれました。

教会に来てから仕事柄(建築士)便利屋的に営繕で働いてきました。最初は司祭館のカーテンの直しに始まり、物置のシンクの撤去、外の流しの設置、通路の整備、御御堂の入口の改修等思いつくと皆様の喜ぶ顔が見えてきます。

この教会に来る前から、サレジオンシスターズの修道院には時折お伺いしていましたので、内藤神父とはそこで知り合いました。さる事情で津久井教会から転籍してからは皆様ご存知の通りです。短い5年間ではありましたが、笑顔溢れる皆様のご厚意に本当に素晴らしい信仰生活を送ることが出来ました。神様と皆様にご挨拶と感謝して別離のご挨拶と致します。

教会記録

◎転入 中田 英雄さん、グエン ティカさん

パトロ 中田 一雄君、テレジア 中田 春美さん、パトロ 中田 雄晴君

(ベトナムより。お帰りなさい！)

◎帰天 6月7日 長きに渡り教会の中心でご奉仕くださった明るい笑顔をお忘れません。

マリア・エルシリア 東海林 美佐子様

6月教会委員会議事録(6月8日実施)

出席者:千葉神父・新井・江守・大野・角(代 福永)・小林・曾根・和田(あいうえお順)

1. 教会墓地に関するアンケートについて

※アンケートの用紙を A3 で見開きにする(教会委員会翌日に開かれた信徒の集いで出た要望により、家族に1枚ではなく成人信者分をレターケースに入れる)。

※6月中にレターケースを確認し、取られていない方、また「おとずれ」を定期的に送付している方には返信用封筒を入れて送付。期限を7月末にする。

2. 小さき花幼稚園卒園生のための「祈りの集い」について

※「祈りの集い」はやらないことになった。卒園児には以前のように日曜学校の案内をだす。

3. 8月11日被昇天ミサ後のプチ・パーティについて

※(後述の検討の)テレビがつけば上映会を開催する企画はどうか。

※そうめんパーティ、ヨーヨー釣り、など、まだ日があるので、メニュー、イベント等考える。

4. 9月15日敬老のお祝いについて

※8月に該当者に招待状を出す。

※例年はカードとクッキー、昨年は日曜学校有志で折り紙カード。日曜学校で余裕があれば検討。

5. 地区懇談会の報告

※5月25日に司教様をお迎えして甲府教会で地区懇談会を行った。富士吉田教会から4名出席。

(会長が自分を振り返ってお話をし、「あの時私たちはもえていたではないか」というテーマになったと説明。司教様からお話をいただき司教様が一番うれしいことは、司教になって25年毎年新司祭が誕生することだそう。4名)全員が意見を言い、有意義な会だった。

6. 営繕より

※佐藤さん転出後の営繕委員について、和田さんお一人では大変なので、どなたか協力して下さる方を募集したらどうか。信徒の集いで呼びかける。

※聖堂右前の最上段のガラス修繕は佐藤さんにより修復

※オルガン横の床のへこみから蟻侵入。シリコンで埋めた。見積をとり来年工事するか検討。

※信者の手で修繕できるものは修繕し、専門的な技術が必要な場合は業者に依頼する。

7. 典礼関係

※8月11日から歌ミサがスタートする。歌番を先唱者が案内する。

※新しいミサ式になったことにより、様々なしおりの内容を変更する必要がある。変更になった部分だけ上から紙をはって対応しているが、今後新しい冊子の購入も検討。

8. 70周年記念誌について

※順調に作成中。教会年表作成中。年表にあった写真を載せる予定。印刷も教会で印刷する。

9. 日曜学校より

※11月にザビエル祭に遠足として参加を検討中。感謝と喜びの集い前日のため、教会イベントではなく日曜学校のイベントとして検討。

※初聖体を例年、王であるキリストの祭日に行っていたが、本年は8月11日(聖母被昇天ミサの祈願文を使ったミサの日)に変更する。

10. ホームページ進捗状況について

※今までのやり方あるいはブラウザ上で作るか?作業はバンデアさんに一任し、大野さんは意匠を検討(教区のホームページ規約に則り、管理担当者は大野さん、作成担当者はバンデアさん)。

※ホームページをライン上で見られるようにできないか?

11. 信徒館にテレビを設置することについて

※テレビタイプではなく、モニタータイプで、また、移動式で話を進める。予算35万を上限とする。

こよみ

7月

日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	聖堂清掃/備考
7/2(火)		70周年記念誌第2回話し合い		
7/7(日)	年間第14主日	行事担当チーム話し合い	○	吉田・河口湖
7/14(日)	年間第15主日	信徒の集い	終業式	信徒の集い参加者
7/21(日)	年間第16主日	山梨地区宣教司牧委員会 ミサ後聖歌隊練習 墓地清掃	×	聖歌隊
7/28(日)	年間第17主日		×	吉田・河口湖以外

御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

イタリア語教室(月曜10時):7月1日、8日、22日

7月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	香部屋
7	曾根 美香	佐々木成子	菅原るみ子	小林恵美子
14	遠藤 伸子	和田 一郎	佐々木綾子	曾根 美香
21	大野 隆	ウエムラマリクリス	吉村希望	江守香代子
28	江守香代子	小松二三子	ヴ ティ ホア	中村 すみ子